

○ テーマ：

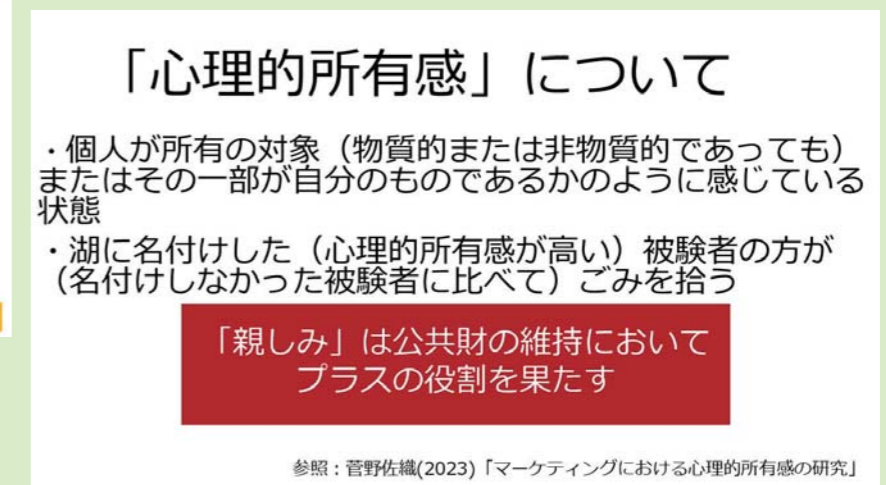
「海上長大橋の愛称」と市民PRについて考える

阪神高速道路神戸建設部での高速道路のしごと説明や阪神高速道路震災資料保管庫の視察、神戸大学教員による「橋に関する内容」の講義の後、グループに分かれワークショップ形式で、海上長大橋に愛称を付ける意味や市民PR等について議論を行いました。
大阪湾岸道路西伸部の現状の認知度を確認するため、アンケート調査を行うチームもありました。



1:なぜ海上長大橋に愛称が必要か

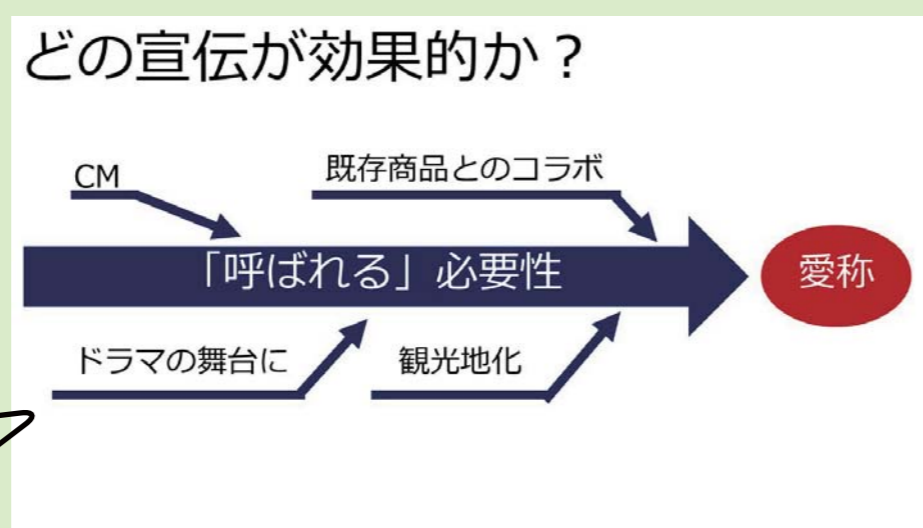
- ・目の前にまだ存在しないものと自分との間に特別な関係を築く。
- ・存在を明確化し、他の橋と区別することで、効果的な認知が可能になる。
- ・早期に愛称をつけることで、愛着や親しみがわき、定着しやすくなる。
- ・愛称を公募することで、「心理的所有感」を生む。



愛称と連動したPRの必要性

完成前PR：

早い段階から情報発信することで、市民が考え、関心をもつ時間が生まれる。



愛称公募

完成後PR：

「神戸といえばこの橋」というイメージにつながる。
人々に長く受け入れられる存在になる。

CM・既存製品とのコラボ、ドラマの舞台、観光地化



2:市民に受け入れられる愛称の条件

親しみやすさ
地域に根付いている

呼びやすさ
キャッチー、短い

象徴性
地名・印象と結びついている

特徴的
他の橋との差別化

3:提案された愛称

六甲ポートブリッジ

愛称の提案

六甲ポートブリッジ



- ・地名を直接使用
- ・短い
- ・読みやすい



- ・六甲アイランドとポートアイランドをつなぐ
- ・長すぎず簡潔で子供から大人まで誰もが読みやすい

コウベイブリッジ (Kobe-Bay)

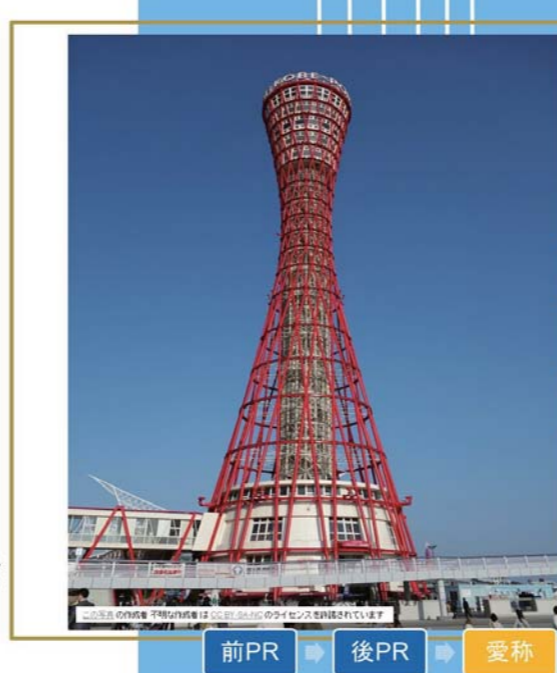
具体例1

コウベイブリッジ (Kobe-Bay)

- ・神戸の港湾に位置することを強調
- ・「ベ」で接続する→つながり
- ・思わず言いたくなるキャッチーさ

参考
・神戸ベイシェラトンホテル
・神戸ベイクルーズ

神戸+ベイは、すでになじみのあるフレーズ
⇒親しみを持たれやすい



- ・神戸の港湾に位置することを強調
- ・こう「ベ」と「ベイ」が「ベ」で接続するなじみのあるフレーズ
- ・思わず言いたくなるキャッチーさ

アイブリッジ

具体例2

アイブリッジ (I)

- ・六甲アイランド、ポートアイランド
- ・斜張橋の主塔の形 (I)
- ・ポジティブなイメージ
「神戸に会う」



- ・六甲アイランド、ポートアイランド
- ・斜張橋の主塔の形 (I)
- ・ポジティブなイメージ
- ・「神戸に会う」